

平成 25 年度決算の概要

1. はじめに

平成 25 年度は、第三病院医局棟建設工事、柏病院増床・管理棟建設工事、並びに本院外来棟建築の為に内部蓄積を目指して運営されましたが、各機関の経営効率化努力により、帰属収支差額（収益）は予算を大幅に上回る結果となりました。

2. 資金収支計算書

施設・設備関係支出は 66 億円でした。主な内容は、建設仮勘定 19 億円（主に第三病院医局棟・柏病院管理棟建築）、土地・建物 15 億円（主に隣地ビルの購入）、医療器械 13 億円、一般備品 10 億円（第三病院電子カルテ化の支出が主体）でした。前年度繰越金は 465 億円でしたが次年度繰越金は 492 億円となり、繰越金は 27 億円増加しました。

3. 消費収支計算書

収入の部は、医療収入の増加により前年度比 9 億円増加の 979 億円となりました。

支出の部は、退職給与引当金繰入額の減少による人件費の減少 7 億円と、資産処分差額の減少 26 億円により前年度比 32 億円減少の 896 億円となりました。

この結果、帰属収支差額（利益）は 83 億円と良好でした。

4. 貸借対照表

自己資金の増加 83 億円の内 52 億円は現金・預金・有価証券に存置されました。残り 31 億円の内 14 億円は一般備品と土地に、17 億円は長期借入金の返済とリースの支払い等に充当されました。自己資金の合計は 1,288 億円で、自己資金比率は 72%となりました。

5. 決算開示方法について

(1) 平成 16 年度の私立学校法の改正に伴い、本学の事業報告書、法人誌「The JIKEI」、インターネットのホームページでの決算報告は、文部科学省への届出フォームで開示しております。

(2) 貸借対照表における未収入金は、徴収不能引当金 131,718,493 円を控除して表記していません。

以上